

研究協力をお願い

昭和大学病院では、下記の臨床研究(学術研究)を行います。研究目的や研究方法は以下の通りです。この掲示などによるお知らせの後、臨床情報の研究使用を許可しない旨のご連絡がない場合においては、ご同意をいただいたものとして実施されます。皆様方におかれましては研究の趣旨をご理解いただき、本研究へのご協力を賜りますようお願い申し上げます。

この研究への参加を希望されない場合、また、研究に関するご質問は問い合わせ先へ電話等にてご連絡ください。

昭和大学病院救命救急センターへ搬入される患者さんに対して行われている ACP の調査

1. 研究の対象および研究対象期間

2022年1月1日から2023年12月31日までに昭和大学病院救命救急センターへ搬送された患者さんを対象とします。

2. 研究目的・方法

救命救急センターへ搬送される患者さんは、血圧や意識に異常のある、緊急性も重症度も高い患者さんです。そのため、家族へ十分な説明をできずに治療方針を決めたり、場合によっては我々の判断で行うこともしばしばです。だからこそ、特に高齢者や基礎疾患のある患者さんは、Advanced Care Planning (以下 ACP) 重要です。今回の研究では、まず救命救急センターへ搬送されてくる患者さんに対して、どの程度 ACP が検討され、家族が把握しているのかを調査することを目的としました。

救命救急センターへ搬送された患者さんの診療録を後ろ向きに調査し、搬送前までに行われた ACP の有無や内容について調査し、入院後にどのような ACP が行われ、患者さん本人もしくはご家族がどのような反応をされたかを調査します。

3. 研究期間

昭和大学における人を対象とする研究等に関する倫理委員会審査後、委員会から発行される「審査結果通知書の承認日」より、研究実施機関の長の研究実施許可を得てから2025年3月31日まで

4. 研究に用いる試料・情報の種類

2022年1月1日から2023年12月31日までに救命救急センターへ搬送された患者さんの診療録から、担当医師の病状説明記録の内容を調査し、本人、家族の治療希望について抜粋しカテゴリー分類を行います。その内容は、以下の通りです。すべての治療行為を希望する、(投薬と酸素投与以外の)侵襲的治療行為は希望しない、あらゆる治療行為を希望しない、延命治療は希望しない、心停止時の蘇生処置は希望しない(いわゆる DNAR で、心停止するまでの治療は希望する)。(と は境界が困難であるが、延命を希望しない場合には、家族が明確に発言している場合に使用します)

さらに、上記の治療希望を、a. 家族や患者さん本人の希望として予め決められていたか、b. 担当医師（救命救急センター）からの説明後に決定していたか、その決定も、即時か数日の猶予で決められたかについてさらに分類します。aの場合は、事前にACPについて自発的に家族内で話し合われたものか、主治医（いわゆるかかりつけ医）により説明を受けた上で決められたものかを調査します。

5．外部への試料・情報の提供

本研究は、昭和大学病院のみの研究であり、本項目は該当しません。

6．研究組織

研究責任者 研究機関名 昭和大学病院 氏名 八木正晴

7．お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせください。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出ください。また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象者としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

所属：昭和大学医学部救急・災害医学講座

氏名：八木正晴

住所：東京都品川区旗の台1・5・8

電話番号：03-3784-8744